

(共通事項)

**必ず、経営上の観点に基づいて記載してください。
実務担当者の観点のみに基づいて記載している
場合は、評価されません。**

様式第7号（第6関係）

D X 推 進 計 画

1 事業の目的及び内容（項目をすべて記入してください）

(1) 事業実施の背景

申請者（事業者）の事業内容

申請者の事業内容を記入ください

(2) 取組の内容

ア テーマ

今回の取組内容を端的に記入してください

イ 対象領域

申請者の事業内容を記入ください

ウ 経営上生じている課題

**対象領域で生じている経営上の課題を業況からの
影響を含めて詳細に記入してください
(業況上の課題と、自社の経営手法における課題
を記入してください)**

エ 経営上ありたい姿（理想）

**今回取組みたい対象領域（事業）が経営上、
どのようにありたいかを詳細に記入してください**

オ ありたい姿とできていない現状と原因

工について、現状どのように達成できていないのか、その経営上の原因について、詳細に記入してください

カ オに対しての解決策（仮説）

オを解決するために、どのような取組を行うか、解決手段を含めて詳細に記入してください。（どのように現在の手法や経営方法を変化させるかについても記入してください。）

※不可の例：機器等を入れて課題を解決することのみを記入する。

キ システム等の導入計画（前後で比較すること、図示可）

（ア）導入物及び目的

カの解決策のためにどのようにシステム等を導入するのか、目的を含めて導入前と導入後の状態を記入してください。（図示可能です）

(イ) 全体フロー及びマネジメント体制 (図示可)

取組を行う全体的な流れをマネジメント体制とともに記入してください。

例：〇月に課題を再精査→仮説の検証→システムの導入→経営手法の変更

(図示可能です)

(ウ) 効果の予測、経営に対しての影響

取組を行った結果、経営上どのような効果をもたらすのか、経営に対しての影響も含めて記入してください。

(3) 目標の設定

ア 短期 (3年後)

イ 長期 (5年後)

取組に伴う目標設定をしてください

(可能な限り売上以外の目標も設定してください)

(4) 事業の実施期間

開始予定日：交付決定後に実施

完了予定日：令和**6**年**3**月**31**日 (令和6年3月31日が最長)

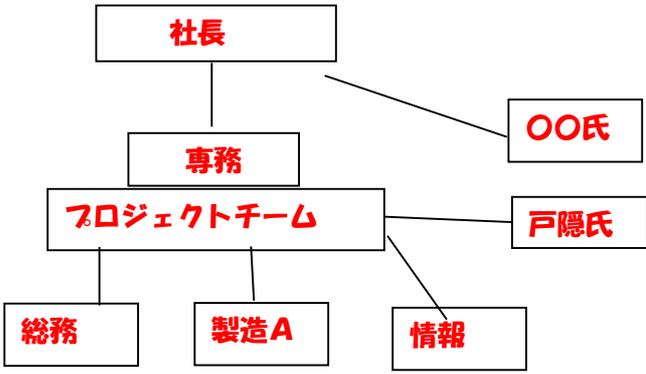
事業者概要及びDXマネジメント体制

1 事業者概要

商号	株式会社 長野市
代表者	代表取締役 長野市太郎
本社所在地 ※1	長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
主な事業所等 ※1	(本部) 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 (柳原営業所) 長野市大字小島 804-5 (篠/井営業所) 長野市篠/井御幣川 281-1 (東京営業所) 東京都港区大手町 1-1-1
会社設立 年月日	平成 20 年 1 月 1 日
事業開始 年月日	平成 20 年 4 月 1 日
資本金	1,000 万円
従業員数	40 人
業種	生産用設備製造業
事業内容	・金属加工部品の製造 ・金属部品の卸売
年間売上高	直近（1期前） 200,000,000 円 2期前 500,000,000 円

※1 長野市内に本店及び事業所（本社、支店、営業所、工場等）を有していることが分かるように記入してください。また、取組を行う事業所はすべて記入してください。

2 DXマネジメント体制

担当役員職氏名	専務取締役 長野市 次郎			
担当部署名	情報システム部、製造Aライン部、総務部			
担当者職氏名	情報システム部 システム課長 長野市 三郎 以下2名 製造Aライン部 調整課長 長野市 四郎 以下名 総務部 経理課長 長野市 五郎 以下1名			
取組体制	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 20px;"> 全社での取組 </div> ・ <div style="margin-left: 20px;">一部門での取組</div> </div>			
支援体制	公的機関	長野県 産業振興機構 〇〇氏	専門人材 (対象領域)	戸隠 太郎 (生産管理システム)
推進体制	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <p>※推進責任者、経営者・役員、担当社員、専門人材・関係部署の関与など</p> </div> <div style="flex: 2;">  <p>今回の取組は社長が長野県産業振興機構の〇〇氏に相談したのが、発端である。 社長の直下にプロジェクトチームを立ち上げ、専務が統括する。 戸隠氏がプロジェクトチームのアドバイスをし、チームメンバーは関係課の課長の他、現行経理システムの操作担当、システム担当(ベンダー出身、製造ライン出身)、納期を調整している班長3名とラインでのシステム担当2名で構成する。</p> </div> </div>			

※ 書ききれない場合は、複数の用紙に記載してください。

※ 適宜、図や表を用いてわかりやすく記載してください。

3 モデル事業としてのPR

モデル事業としてどのように協力できるか

下記観点から記載ください。

**「主体的な実施」の例：業界の〇〇という集まりで事例を周知できる、工場の見学を受け入れられる
など**

※取組事例としての展開しやすさや、取組事例について広報や周知を主体的に実施できるといったことを具体的に記載してください。

様式第7号の4（第6関係）

経費明細表

経費区分	A	B
	補助事業に要する経費 (総事業費)	補助対象経費
	(税抜)	(税抜)
機器導入費	8,000,000円	8,000,000円
謝金※	800,000円	800,000円…①
合計	8,800,000円	8,800,000円…②

※謝金のB欄はBの合計欄の一割以内となるようにすること
 (②×0.1≥①の金額となるようにすること)



上限額の区分に○を記入

限度額	事業の規模（2つの区分のうち、より上位の区分を適用）	
	従業員数	売上※
500万円	20人以上	3億円以上
400万円	11人以上20人未満	1.5億円以上3億円未満
300万円	10人未満	1.5億円未満

Bの合計額に2分の1を乗じ、千円未満切捨て
 (上記で○をつけた上限金額まで)

補助金交付申請額：4,400,000円

「A 補助事業に要する経費」の予算内訳（補助金支払までの期間の支出計画）

①自己資金：	8,800,000	円
②借入：		円
③その他（ ）：		円
合計	8,800,000	円・・・A ※Aは上記表Aの合計額と一致

- (注1) 経費区分ごとに、事業に要する経費、補助対象経費を記入すること。
 金額については、見積書、価格表等による正確な金額を記入すること。
- (注2) 「補助事業に要する経費（総事業費）」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を意味し、消費税を含めない金額を記入すること。

税抜き単価50万円以上で2者以上の見積が提出できない場合
のみ提出する様式です。
(システムの開発については本様式の使用はできません、2者見積が必須です)

様式第7号の6 (第6関係)

長野市中小企業DXモデル支援事業補助金一者選定事由書

年 月 日

(宛先) 長野市長

住所 **長野市大字鶴賀緑町1613番地**
氏名 **株式会社 長野市**
代表取締役 長野市太郎

連絡先 (電話) -

[法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名]

長野市中小企業DXモデル支援事業補助金の申請にあたり、単価50万円以上の経費
で二者以上の見積を徴する必要がありますが、下記の事由により一者のみの選定とし、
随意契約といたしたいことを申し出ます。

記

購入物品	生産管理システム UDF-8800	
金額 (単価)	8,000,000 円	税抜
一者選定をする事業者の名称	〇〇工業株式会社	
一者選定とし 随意契約をしたい 具体的な事由	複数の者から見積をもらえない理由を記入してください。 【記入のポイント】 ・他の物では代替できない理由 ・他の事業者から購入できない理由 【認められない例】 ・(広く流通している機器・他に類似の機器があるにも関わらず) 他から見積をもらえないから ・いつも設定をやってもらっているから など	